レッスン： PYR 44

テーマ：潜在的可能性のサイクルにおける助け

PYR KE06L7306

私の兄弟、姉妹達よ、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

 過去のレッスンでは様々なサイクルの中でもいろいろな助けについて多くを話してきました；そして現在のパーソナリティーのそれらのサイクルの中での一番大きな、そして最も重要な助けはLifeそれ自体を意味する助けです。勿論、それらすべての助けは創造界の諸法則を意味します、現在のパーソナリティーに関係する創造界の法則です。

　前に述べたように、最も重要な助け、実際最も重要な法則は何であれLifeからのもので、それは特定のサイクルをマスターした後で現在のパーソナリティーが表現するものです。

　私たちが＜何であれLifeからのもの＞と言う時、それは特定のサイクルにおいて現在のパーソナリティーが現すものです。つまり、そのパーソナリティーが4つのエレメントをどれだけマスターしたかということです。実際、現在のパーソナリティーに関して4つのエレメントは何を意味しているのでしょうか？現在のパーソナリティーとは思考・行動の仕方以外の何ものでもないことを私たちは知っています。現在のパーソナリティーは二元性を使い、現在のパーソナリティーはLifeによって活性化されていますが、しかしLifeの本質を現わしておらず、その理由はディバインの仕事が達成されるためです。Lifeによって活性化される現在のパーソナリティーという現れがあるのはそのためであり、それによってディバインの黙想という仕事が達成されるのです。

　現在のパーソナリティーというヒポスタシス（＊状態）のなかにLifeがあるにもかかわらず、Lifeによって活性化されていてもLifeの本質を完全には現わしていない現在のパーソナリティー、何がこの現れを助けているのでしょうか？レッスンのなかで述べましたが、実際、肉体がその可能性、能力を提供しています。

　同時に、説明したようにもう一つの理由があります。それはサイコノエティカル体です。

サイコノエティカル体、それは現在のパーソナリティーであり、

2つの不定形の体があり、それらの体は元型である人間のイデアフォームにマッチしていません。言い換えれば、その骨組みはそのあるべき姿になっていません。その体は元型としての人間のイデアフォームと同じではないのです。

　肉体は、現在のパーソナリティーがそれ自身を3次元の諸世界において自分自身を表現することが可能になるために使用されています。肉体は4つのエレメントから築かれており、私たちにはサイクルのなかで助けがあり、それはパーソナリティーが4つのエレメントをマスターするのを助けてくれる法則を意味し、それは四面ピラミッドです。

　なぜ四面ピラミッドなのでしょうか？このシンボルは本当にその法則を意味しているのでしょうか？実際には、その法則は2次元のシンボルによって現されています。しかし、パーソナリティーが3次元の波動のなかでそれ自身を現わしている間は、そのパーソナリティーが3次元の波動のなかでアプローチできるシンボルでなくてはならず、それゆえに四面ピラミッドなのです。

　同じことが三面ピラミッドによって意味される法則に関しても言えます。前に述べたように、このシンボルは現在のパーソナリティーをLifeの本質とつなげる法則を意味しています。そしてそれは2次元のシンボルなのですが、今の私たちにはそれは3次元のシンボルになっており、それが三面ピラミッドです。四面ピラミッドをマスターするためには最初に三面ピラミッドをマスターする必要があります。

Page2

 四面ピラミッドをマスターするとはどういう意味でしょうか？これは1つのサイクルで達成できるでしょうか？ノーです。達成できることは、特定のサイクルにおいて三面ピラミッドが提供していること、Lifeそれ自体からどれだけ達成できるかということです。

そして四面ピラミッドと言うとき、それは４つのエレメントを意味しており、４つのエレメントをどれだけマスターできるかということです。２番目のサイクルで四面ピラミッドがあり、それはパーソナリティーが築くべきことです。実際、パーソナリティーが４つのエレメントを身に纏う、つまり肉体を持つのを助けたのはこの四面ピラミッドではありません。そうではなく、地上にある四面ピラミッドです。地のエレメントのなかにある四面ピラミッドではなく、地のエレメントの上にある四面ピラミッドです。

　まず、１番目および２番目のサイクルにいる人間は現在のパーソナリティーの部屋にいる自分を見いだします。その部屋は地上にある大きな四面ピラミッドの下、地のエレメントのなかにあります。なぜでしょうか？なぜなら、その現れのステートにいる間は、パーソナリティーはこの地のエレメントにフォーカスしているからです。パーソナリティーがどの方向にフォーカスしようとも、地のエレメントにフォーカスしているからです。

　ですから、部屋の中で今あなたはこれら全ての助けを築こうとしています…四面ピラミッド、三面ピラミッド、そして最終的に一面ピラミッドを。そしてこれら３つを築くためには、エーテルの特質を使うことができる必要があります。運動エーテル、感覚エーテル、そして刻印エーテルです。あなたはそれらのピラミッドを築く必要があり、それらのピラミッドは特定のサイクルをマスターするのを助けてくれる法則を意味しています。

　さて、地球上の大部分の人間は２番目のサイクルにいて、潜在意識的に自分を現しています；彼等はいわゆる潜在意識的意識のセルフエピグノシスを現わしています；つまり彼等は意識的に生きていません。そしてそれらの人々の仕事とは、それらのサイクルをマスターし、彼等を限界あるその現れのなかに留めておく全てから自由になることです。つまり、そのサイクルにいる間、彼等を地のエレメントにフォーカスさせているものから自由になることです。

　一度彼等がこれらの境界から自由になると、3番目のサイクルに入ります。そこでは勿論、セルフ、自己を意識的に現し始めます。意識的意識のセルフエピグノシスです。そして地のエレメントの中ではなく、その上に立ち、また大きな四面ピラミッドの上に立っている自分を見いだします。実際、その現れの波動の中でそれ自身を現すための手段を使用するように、肉体を使用するようにそのパーソナリティーを助けたのはそのピラミッドです。

　さて、すべてのサイクルをマスターした後、最終的に達成されるのは、他でもない肉体をマスターをすることなのです。そうすることによって、それは現在のパーソナリティーが同時に不定形の諸体は再形成することであり、それこそがまさに現在のパーソナリティーなのです。そしてその現在のパーソナリティーは私たちが自己実現と呼ぶステート、つまりキリスト意識に到達します。

　ですから、すべてのサイクルのなかで、現在のパーソナリティーに関係する様々な助け、つまり法則があります。私たちは現在のパーソナリティーの諸世界に住んでいます、実在の諸世界に住んでいます、そしてそれらの世界は現在のパーソナリティーの諸世界です。勿論、その現在のパーソナリティーは実際にはLifeそれ自体ではありませんが、

***しかし現在のパーソナリティーの中にLifeが存在するのです。そして現在のパーソナリティーが自己実現に到達すると、その現在のパーソナリティーは自己実現のステートのなかで高次ノエティカル体を使います。そしてその体は元型である人間のイデアフォームと同一です。それは私たちの中にあるLifeのスパークと同じ体です。***

　その体は今どこにあるのでしょうか？　それは私たちが築くべき何かでしょうか？答えはノーです。今でもその体は存在しています。その体は本来、現在のパーソナリティーに与えられたのではなく、現在のパーソナリティーに「なる」べきステートに与えられているのです。つまり、現在のパーソナリティーとして活性化されるステートに。そしてその体は私たちの内側に見いだされることになります。それは私たちがこれから築く何かではありません。ですから、私たちの中には2つの同一の体があります。1つは自己実現した時に使用する高次ノエティカル体、そしてもう一つはLifeのスパークの体です。現在のパーソナリティー自体を活性化するのは実際そのスパークなのです。

Page3

 さて、レッスンのなかでたびたび述べた四面ピラミッドですが、四面ピラミッドの底面の真ん中に立っている自分を見ます。正面には純白の輝きのサイドがあります。あるレッスンのなかで、そこには2つの同一の体があると言いました；それらのうちの1つは高次ノエティカル体を意味し、それは現在のパーソナリティーに属します。もう一つはLifeのスパークに属します。正面の右側にあるのがLifeのスパークの体であり、左側が私たちが自己実現に到達すると与えられる高次ノエティカル体です。

　レッスンの中で述べましたが、これが起きた時でもそのパーソナリティーはその自己実現のステートに留まることはせず、再び波動を下げ、完全に再形成されたサイコノエティカル体を使いながら転生のサイクルのなかに留まります。しかし、自己実現のステートにおいて、Lifeのスパークの体と同じ波動を持つ高次ノエティカル体がLifeのスパークの中に入ることができます。なぜなら、Lifeのスパークのなかに入るためには、それと同じ波動を持つ必要があり、両方の体の波動はスーパーサブスタンスの波動です。

　しかし、前に述べたように、そのパーソナリティーはその現れのステートには留まらず、かわりに今や完全に再形成されたサイコノエティカル体を使うでしょう；それは完全に活性化された骨組みを持ち、その骨組みは創造界の元型であり、いわゆる生命の木です。

　ですから、四面ピラミッドのなかにいる間、正面には純白の光があり、右には赤の光がありそれは勿論火のエレメントを意味し、ミカエルのオーダーの管轄下にあります。後ろにはホワイトブルーの輝きがあり、水のエレメントを意味してガブリエルのオーダーの管轄下にあります。左には空気のエレメントがあり、それはウルトラバイオレットの輝きで、それを管轄しているのはラファエルのオーダーです。

　ですから３つのエレメントがありますが、４つの面があります；火、水、空気またはエーテル、そして底面にはもう一つ地のエレメントがありますが、それにはタッチしません。

　正面のサイドはどうでしょうか？正面のサイドはウリエルのオーダーの管轄であり、ウリエルは何であれ他の３つのアークエンジェルが現在のパーソナリティーに提供するもののコーディネーターの働きをしています。他の３つのアークエンジェル達が現在のパーソナリティーに与えるものをそのパーソナリティーが利用できるように助けています。

　さて四面ピラミッドのなかにいる間に私たちがする努力とは、それら様々なアークエンジェルのオーダーに触れることです。どのように触れるのでしょう？そうです、あなた方はそのための沢山のエクササイズが与えられています。しかし、直接そのオーダーに触れるわけではありません。あなた方はあなた自身に付き添って伴うそれらのアークエンジェルたちと接触するのです。そしてそれらのアークエンジェルたちはその現在のパーソナリティーに関係する全てのオーダーを意味しています。

　そして私たちには一つのミカエルがいて、それはオーダーからのミカエルではなく、Lifeそれ自体から直接来ているもので、その現在のパーソナリティーの最初の転生から付き添っていて、自己実現までずっと付き添います。一つのミカエル、一つのガブリエル、一つのラファエル、一つのウリエル、そしてもう一つ守護大天使がいます。全部で５つのアークエンジェルが現在のパーソナリティーに付き添っています。

　ですから私たちの努力とは、いつも私たちと一緒にいるそれらのアークエンジェル達とつながることです。私たちがどこにいようとも、どこに行こうとも、そしてたとえ４つの壁のなかで自分自身を閉じようとも、それらのアークエンジェルたちは常に私たちと一緒にいるのです。

　勿論、私たちの内側には様々なアークエンジェルのオーダーからの無数のアークエンジェルたちが働いていて、私たちの肉体を維持しています。私たちは自分が自分の肉体を維持していると考えていますが、そうではありません。身体を維持しているのは私たちの中で働いているアークエンジェルたちです。ですから私たちがすべき努力とはそれらの５つのアークエンジェルたちとつながることです。

　土のエレメントを管轄しているLifeの現れについては、私たちは一切触れません。土のエレメントが汚いとか、その他否定的な理由からではなく、理由は土のエレメントの中には何であれ人間のあらゆるネガティブな創造物があるからです。そこには人間の無知の結果として創造されたものが見いだされます。そのエレメント自体が汚いとかその他ネガティブな理由からではありません。

　Page4

　地のエレメントを管轄しているオーダーはアークエンジェルのオーダーではなく、エレメンタルのオーダーであり、それはサマエルのオーダーと呼ばれています。そして勿論、地のエレメントを管轄しているそれらのエレメンタルを創造したアークエンジェルはルシファーのオーダーです；ルシファーは勿論原因・結果の法則を管轄しており、それは人間が経験を経ることができるためです。そして原因・結果の法則は二元性、対立する二元性の結果です。

　さて、部屋にいる間に与えられる様々な助け、そして何であれそれらの助けが提供するものを利用するためには、様々な法則が意味するこのシンボルを意識的に築くことができる必要があります。見ないものをただ想像するのではなく；あなたはそれを見て、それを感じ、さらにはそれに触れることができる必要があります。

　勿論、あなた方は“今のところそれに成功していないので、これまで行った努力は無駄になったのだろうか？”と言うかもしれません。答えはノーです。何であれあなたが行った努力はあなたの潜在意識のなかに記録されています。いつか、何であれあなたが築くものを見て、それに触れることのできる時が来るでしょう。例え、今のところはそれに触れることができなくても。

　勿論、同時にもっと意識的に刻印エーテルを使うことができるようになる必要があります。あなた方は毎日それを使っていますが、しかしあるべき仕方で使っていません；真の価値のないものに対してそれを使っているのです；あなたが何かを非常に強く欲すると、あなたはそれを目の前に見ます､全て細かい部分まで見ます。しかし、真に価値のあることを視覚化しようとすると、とても困難になります。なぜでしょうか？なぜなら、現在のパーソナリティーの小さな２つのエゴの中のより小さいエゴが刻印エーテルを使うことに対して障壁を作るからです。それが問題です。あなたは２つの小さなエゴの中のより小さいエゴの指示に従わないようにする必要があります。しかし、現在のパーソナリティーの２つの小さなエゴのなかのより大きなエゴから常に自分自身を表現するように努力するべきです。

　いずれにしても、心配しないでください；多くの忍耐とハードワーク（＊努力）が必要です。続けましょう。

Q：地のなかのエレメンタルは人間が作ったものですか、あるいはそれとは関係なく存在するのでしょうか？

K：何であれ地のエレメントのなかにあるものは人間だけが作りだしたものであり、それは無知の結果です。それゆえにそれらのエレメンタルは無知を助けるエレメンタルなのです。反対のものを助けるのです。それゆえに私たちはそれらのエレメンタルとつながるのを避けるべきなのです；地のエレメントではありません、地のエレメントそれ自体は純粋なものです。このエレメントのなかにあるネガティブなものが問題なのです、なぜなら何であれこのエレメントのなかにあるものは、人間の無知の結果だからです。何であれ神、絶対存在によって創造されたものは純粋です。神は決してネガティブナものを作ったことはありません、ネガティブなものを創造するのは人間の無知です。

　地のエレメントのなかで、大部分のエレメンタルはネガティブなものです。２番目のサイクルのなかでさえも、私たちはそれが純粋であり非常に有益なものと見なしますが、実際にそうではありません；なぜなら、私たちがどの方向にフォーカスしても、実際には地のエレメントにフォーカスし、目の前にあるそのエレメントのイメージに魅了されているのです。

Q：それについて問題があります。なぜなら、私たちは自分自身を好きになるべきであり、肯定的な自己イメージを持つべきです。ですから、自分に魅了されているのか、またはただ自分自身を好きであるのかをどのようにして知ることができるのでしょうか？

K：私たちは自分自身を過小評価すべきではありませんが、しかし決して自己イメージに魅惑されるべきではありません。私たちは気づきを高めるために努力すべきです。それは簡単なことではありませんが、そうすべきです。そしてそれができれば、魅了であるか、または自分の気づきの真のレベルであるかどうかがわかるでしょう。何であれその真のレベルを受け入れ、自分の現れをより向上させるために働き始めるでしょう。現れのこれらの波動において私たちはそのようにしてLifeにアプローチすべきです。あるいは特に２番目のサイクルにおいては。

　なぜ私はそのように言うのでしょうか？なぜなら、次のサイクル、つまり３番目のサイクルに入ると、あなた方はセルフを意識的に現すようになり、何が真の価値で何がそうでないかを知るからです。何が上向きで何が下向きかを知るようになります。２番目のサイクルにいる間は、つまりパーソナリティーが地のエレメントのなかにいて、その上に立っていない時には、何であれ上向きだと思うものは実際には下向きだからです。

　Page5

５つの真の感覚は現在のパーソナリティーの最初の選択ではなく、つまり意識的には使用されないのです。しかし、３番目のサイクルでは、パーソナリティーは徐々により意識的に５つの真の感覚を使用するようになります。今は真の感覚の影としての五感があります。そしてそれらの五感は下向きの五芒星によって象徴されています。それはつまり、そのパーソナリティーが否定的なものにより近く、その否定性に影響されていることを意味します。

Ｑ：現在のパーソナリティーにつきそう5つのアークエンジェルですが、それはずっと同じで、それはルシファーにも当てはまるのでしょうか？それは現在のパーソナリティーにつきそう同じアークエンジェルですか？

Ｋ：ちがいます。ルシファーはある法則、つまり原因結果の法則を管轄するひとつのオーダーであり、肉体を提供するエレメントを管轄しています。地のエレメントはフォーム、形を帯びるために他のエレメントを必要とする、と言いましたが、しかし大部分それは地によって築かれています。それは地のエレメントからきます；しかし比率から言うと他のエレメントから来ますが、特に水のエレメントです。肉体は主に地のエレメントによって存在しています。そしてもしそのエレメントを取り除くと、肉体は地のエレメントに戻るでしょう。

Ｑ：サマエルは常に肉体に働いている天使的ステートの部分なのでしょうか？

Ｋ：ちがいます。サマエルは地のエレメントを管轄していますが、しかし、何であれ地のエレメントの中にあるものに関してサマエルは関与していません。それは人間の責任です。そして何であれ人間がこのエレメントのなかに築くものについては、人間がその結果を負うのです。そして勿論、結果は原因結果の法則によって支配されます；そして原因結果の法則を管轄しているのはルシファーのオーダーです。

　それらの法則はどこに見いだされるのでしょうか？レッスンのなかで、全てはLifeのなかにあると言いました。最大の中にあるもの全てでさえ、最小のなかにもあるのです。私たちのなかには、Lifeそれ自体として最小のものがありますが、それはLifeの本質を完全に現わしており、そのスパークが私たちのなかにあるのです。

　ですから最大から最小まで創造の全ての法則は私たちのなかにあるのです。ですから、私たちには原因結果の法則があると言う時、人間に関して、この法則は特定の人間のなかに見いだされるのです。神の慈悲の法則、それもまた現在のパーソナリティーのスパークのなかに見いだされるのです。ですから、その法則を自分の外側にあるものとして責めないでください。その法則はあなたの内側にあり､全ての人の内側にあるのです。全ての法則が内側にあるのです。

勿論、私たちはそれに気づいていません。なぜなら、現在のパーソナリティーとして私たちはLifeの本質を現わしていないからです。現在のパーソナリティーとしての私たちはLifeの影です。それはLifeが活性化する何かであり、仕事とは、影としてのこの現れが徐々にこの影を創造しているものへと進んで行き、現れとしてそれと一つになることです。そして影を創造している何かにいわゆる自己実現を与え、“私は私である”と言うことができるようになるのです。それは現在のパーソナリティーとしての個人性を得ることによって、他のどの私とも異なる何かです。なぜなら、私たち各人は時間空間の意味のなかで別々に動いているからです。この創造界においてまったく同じ体験をしている2人の人間を見いだすことはないでしょう。

　それゆえに、私たちは他の誰とも異なった名前を持ち、自分の個人性を認識するのです。これが私たちが現在のパーソナリティーとして得るものであり、私たちがLifeの真の本質を現わしていないのでそれが与えられているのです。もし私たちがLifeの真の本質を現わしているなら、全ての人は同じセルフを表現しているでしょう。その場合、私たちは体験を得ることができません。そして他の人のモナド・セルフとは異なるモナド・セルフとしてのそれを認識することはできないことになります。

　Page6

 Q：自己実現に到達したら自動的に法則に従って行動するのでしょうか？

K：そうです。あなた方は他の同胞の人間を益するために、意識的にそれらの法則に奉仕できるようになります。同胞の人間達の痛みを背負うことができるようになります。Lifeの本質を現わしているがゆえに、原因結果の法則がそれを許す場合には他の同胞の人間たちの痛みを軽減することができるのです。他人のために自分自身を十字架に置くことができるようになります。

Q：その法則に意識的に従わないことは可能ですか？

K：ノーです、決してそのようなことはありません。現象的には、おそらく実際にLifeが何を受け入れているかを認識していない他の人間の目から見れば、そういうこともあるかもしれませんが。覚えておく必要があります…何であれ今受け入れられているものも、明日における人間の気づきのレベルから見れば受け入れられないかもしれません。善悪の意味は常に変化しています。昨日は良いと見なされたことも、今日になれば良いとは見なされないかもしれず、その反対もあるでしょう。

Q：しかし、同じように、受け入れてもらうためには、気づきの一般的なレベルに従う必要があるということですか？

K：そうです。しかし、原因結果の法則がそれを許すならば、全体的な人間の利益のために何かをするかもしれません。それは気づきの普通のレベルでは受け入れられないかもしれず、あなた自身は非難されるかもしれません。しかし、いずれにしてもあなたはそれを他の人々を益するために行うのです。

Q：様々な体験と言う時、それは各人がそうであると理解する仕方について述べているのですか？なぜなら全体としてほとんどの人の体験は似ているからです…喪失、心の傷、その他。

K：はい、しかし私たちの体験はまた私たちがそれをどのように理解し、解釈するかの結果です。それは気づきのレベルの結果として私たちが現す違いによります。人間の気づきの2つのレベルが細かいところまで同じだとは見ないでしょう。私たちは何かの体験をそのように見ているのです。体験とはあなたがそれをどのように理解するか、どのように認識するか、どのように解釈するかです。それが体験なのです。なぜなら、今この部屋においても、私たち各人は周囲を異なって受け取っています。私たちはある一連の出来事や周囲の出来事をそのように理解しているのです。

あなたが何かを読む時でも、あなた自身も何かを作り出すのです。なぜなら、あなたが読んでいる何かを理解する時、同時にあなたは何であれ自分が理解するものを作りだすからです。そして何であれあなたが作り出すもの、創造するものは他の誰かに対してあなたの個人性を述べているのです。もし他の誰かが同じ本を読んでも、その人の創造、作り出すものはあなたとは異なります。それは確かなことです。

Q：しかし、たとえあなたが同じものを再読しても、あなたはそれ以上の何か新しい印象、解釈を生み出します。

K：しかし、同時にそれはあなたのものです。あなたは同じ本からさらなる体験を得、さらなるレッスンを得ます。毎回、著者が提供しようと意図したものをより深く認識するのです。

Q：それは気づきが深まったということですね。

K：そうです。気づきは決して静止することはないでしょう；それは常に変化し、決して後退することはありません。

EREVNA PYR 44KE06/L7/06032